

下北支部第一回支部会報告

日時 令和4年6月11日(土)13時半-16時半

場所 むつ市・下北文化会館(青森大学むつキャンパス)

『2022年度保護観察官による更生保護出張講座』

法務省・青森保護観察所 統括保護観察官 宮木岳さん(佐井村出身・東青支部所属)

下北支部では昨年の支部会でも保護観察所の出前講座を利用し、司法福祉について学びました。好評を受け、昨年に続いて2回目の勉強会となりました。会員45名中17名の参加がありました。

1つ目のテーマは「刑事司法と社会福祉士の関わり」です。初めて参加する会員もいましたので、保護観察所や保護司の仕事について、改めて詳しくご説明頂きました。その後で、どのような方が保護観察対象になるのかを事例を通してお話してもらいました。刑罰よりも、福祉が介入して地域生活を支援した方が更生になると思われる事例ばかりでした。少年の非行の原因の多くが虐待であること、居場所がなくて刑務所に戻るために再犯を繰り返す高齢者がいること等を聞くと、いたたまれない気持ちになります。下北支部には保護司をされている会員さんがいます。この研修をきっかけに保護司になる会員さんもいました。何もできなくても、せめて偏見を持たずにいたい、と思いました。

続いて「薬物事犯者に対する保護観察所の取組について」というテーマでもお話を頂きました。北海道に勤務されていた時にダルクの活動にも関わっていたそうで、薬物検査の様子など驚きの連続でした。依存症をどう克服していくのかなど、時間がなくて聞けなかったことがまだまだあるので、また出前講座の利用を計画しています。支部会の様子は、法務省保護局の公式ツイッターに掲載されました。

